

～みんなで支える地域の笑顔～

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成31年3月19日 VOL. 96

「第1回 平穏死を考えるつどい」を開催しました

平成31年3月9日（土）高洲地区交流センターを会場に、一般社団法人志太医師会（会長：錦野光浩氏）と藤枝市の共催で、**医師と市民がともに「平穏死を考える」ためのつどい**を行いました。

これは、昨年12月の「平穏な最期を迎えるために ～様々な立場から考える」をテーマに開催した「第7回 医療・介護・福祉フォーラム」において、医師・薬剤師・看護師・ケアマネ等の専門職だけでなく、**市民の皆さんと共に「平穏死」や「看取り」について考えることが大切だと確認**したことを元に企画したものです。

錦野会長は症例報告で「平穏死」と「安楽死」の違いや、在宅看取りのデータ分析、さらに自身の在宅看取りの症例への思いの報告を行いました。



症例報告後、参加者32人（一般市民）が5つのグループに分かれ「**皆さんが思い描く平穏死を語ろう・聞こう・話し合おう**」のテーマで意見交換を行いました。各グループには、志太医師会協力医師（錦野光浩氏・三輪誠氏・高橋博氏・杉浦正司氏）と藤枝市立総合病院協力医師（甲田証氏）が入り、意見交換会の進行や医学的なアドバイスを行いました。



意見交換会の様子

参加者32人うち9割強が60歳以上で、「看取りの経験がある」「がん治療の経験がある」「今、がんの治療中である」「一人暮らしをしている、今後も続けたい」「子どもに世話にならないで最期を迎えたい」という意見の人が多く、「尊厳死協会」に加入している人や、ご夫婦での参加も3組ありました。

終了後のアンケートでは、**参加者の約9割が「大変良かった・良かった」と回答し**、「先生と話しができる機会が無いので、先生の意見を聞いて良かった」「先輩たちの感じ方・考え方を聞いて、自分の一助にしていきたい」「日頃、話題にできない問題を、奥深く話し合えたのが良かった」などの声がありました。

今後も「平穏死を考えるつどい」やります

つどいの運営をした志太医師会在宅医療サポートセンター 杉浦正司センター長は、「平穏死を考えるつどいは、専門職が地域に足を運んだ出前型で開催し、市民と対話しながらともに考えることに意義があり、今後も継続していきたい」とまとめました。

在宅医療サポートセンターでは、「在宅医療に関するお悩み・お困りごと」のご相談を承ります。お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせは
私たちが
ご相談を承ります！
担当：西脇／川村

**一般社団法人 志太医師会
在宅医療サポートセンター**

〒426-0078 藤枝市南駿河台1丁目14番2号
TEL:054-625-7072/FAX:054-646-1176
Eメール zaitaku.shida@gmail.com

志太医師会ホームページ
https://www.shida.shizuoka.med.or.jp

健康福祉部 地域包括ケア推進課

TEL 054-643-3225 E-mail chiikicare@city.fujieda.lg.jp